

受賞名：優秀賞

タイトル：勇かんな警察官

氏名：田中 結菜

小学校名：栃木県 佐野市立犬伏東小学校 六年

祖母と弟がお気に入りの公園には、道の反対側に川があります。公園で遊んでいると、お母さんと男の子が川の底を見ていました。持ってきたサッカーボールが川に落ちてしまったようです。道路から川まではとても遠く、川の両側には細長い草がたくさん生えています。ボールは、その草の中に入ってしまった。自転車に乗ったおじいさんが、「近くに交番があるよ。」

と、教えてくれました。小さな子を二人も連れて交番まで行くのは大変だからと、祖母の提案で私たちが交番に行くことにしました。

交番には二人の男性警察官がいました。祖母が、「川にボールが落ちてしまったので、あみがあったら貸していただけませんか。」と言いつわらないうちに、一人の警察官が、奥の部屋に行ってしまいました。もう一人の警察官が、

「わかりました、すぐ行きます。」  
と言ってくれました。すると奥に行った警察官が、釣りをする人が着るような、胸まである防水の服を着て出てきました。もうひとりの警察官も用意を始めたので、私たちはもどることにしました。私たちが交番についてからの出来事は、あっという間で祖母もとても驚きました。

私たちが川に着くと間もなく、パトカーがとう着きました。防水服を着た警察官が川まで降りてきてもう一人の警察官が私たちに事情を聞き、二人の警察官が声をかけあいながらボールを探してくれました。私たちは、

「ありがとうございます。」  
と言いつ、警察官は帰って行きました。  
「かっこよかったね。」

祖母はうっとりした顔で言いました。  
「そうだね。」

と私は言いました。警察官たちの行動の素早さに感心しました。

私たちが交番であみを借りて自分たちでボールを取ろうとしました。しかし、自分たちだけで川に入るのは危ないことだと思いました。

夏休みに入り、川で子供がおぼれる事故のニュースを毎日のように見ました。どんな小さな川でも、入ったら危ないのだと思いました。

私は警察官のことを悪いことをした人を捕まえることが主な仕事だと思っていました。私たちの町や家族、地域の人たちを守り、困っている人を助けるのも大事なんだと改めて思いました。